



滋賀県道路整備アクションプログラムの見直しに向けた地域ワーキングを開催



このたび滋賀県では、平成30年3月に公表した『滋賀県道路整備アクションプログラム2018』の見直しを実施することになりました。

甲賀土木事務所では、管内における地域課題を抽出し、その課題を踏まえた今後の道路整備について意見を聴くことを目的に、有識者、公募委員、道路利用者等からなる「地域ワーキング」を開催しました。

道路整備 アクション プログラム とは

「道路整備アクションプログラム」とは、「どこに、どんな道路が、いつまでに必要か」を具体的に示した道路の整備計画のことで、県内8地域別に策定しています。

このプログラムは、社会情勢の変化や政策課題に係る変更が生じた場合に適宜見直し、最長でも5年で見直すこととしており、平成15年度の当初策定から5年サイクルでこれまで3回の見直しを実施しました。

今回は道路整備マスタープランの3次改定を受け、4回目の見直しを実施します。『アクションプログラム2023』では、令和5年度～令和14年度までの10年間における道路整備計画を明らかにします。

■平成30～令和3年度の間に完了した事業の一例

小佐治甲南線（小佐治工区）R3.3供用



◆◆第1回地域ワーキング開催概要◆◆

【日時】 令和4年8月9日（火）
14:00～16:00

【場所】 甲賀合同庁舎 4階4A会議室

▶ 地域ワーキングの目的

甲賀土木事務所管内の地域課題を抽出し、その課題を踏まえた今後の道路整備について、色々な立場の方から意見を聴くことを目的とする。

▶ 地域ワーキングの検討内容

- ①地域の道路・交通の現状、問題点、課題の整理
- ②客観的評価マニュアルにおける地域の重点項目の選定
- ③地域ワーキングにおける「地域の声」のとりまとめ
- ④アクションプログラム2023における掲載内容

見直しの手順

- ①地域ワーキングの意見、県民アンケート、市町意見等を踏まえて「地域の声」「地域重点項目」を設定する。
- ②最新データに基づき、客観的評価マニュアル※により事業を評価する。
- ③選択と集中を図り、早期に事業効果を発現できる事業を抽出する。

アクションプログラム策定スケジュール

第1回 ワーキング

5年間を振り返り、地域の道路、交通の問題点や課題等についてご意見をいただきました。

今回

第2回 ワーキング

第1回ワーキングで頂いた意見に基づき、「地域の声(案)」「地域の重点項目(案)」を作成、提示し、意見をいただきます。

第3回 ワーキング

「地域の声」「地域の重点項目」「定量的指標」等の報告、個別路線の代表候補箇所を提示し、意見をいただきます。

第4回 ワーキング

アクションプログラム2023(案)を提示し内容について意見をいただきます。

アクションプログラム2023策定
(令和5年3月予定)

※客観的評価マニュアルについて

「客観的評価マニュアル」とは、アクションプログラムにおける事業の優先度を誰が見ても納得できる評価基準、誰がやっても同じ評価結果とするための客観的な評価方法を記載したものです。

これにより、現道拡幅やバイパス整備、交通結節点整備などの「拠点間ネットワーク整備事業」、歩道や自転車道整備などの「拠点内道路空間整備事業」について、A・B・Cの3段階でランク分けを行い、事業の優先度を判断するものです。

ワーキングでいただいた主なご意見

▶ 近年の道路整備による地域の変化

- ・ 湖南市の県道4号の歩道整備により、自転車や歩行者交通量が増加した。
- ・ 甲賀市内の国道1号は、水口町のバイパス道路により利用しやすくなった。

▶ 甲賀地域ほかにおける道路の問題・課題

- ・ 7月の大雨により、国道1号の地下横断道の通行不能や国道8号の北陸トンネルの通行止めが発生している。
- ・ 中学生の自転車が車道幅いっぱいをおくることがあり、危険。
- ・ 滋賀県の観光はピワイチとして、サイクルツーリズムを推進している。新名神高速道路の開通により、三重県伊賀方面に抜ける車が増加しているが、その脇を自転車が走行している状況で危険。
- ・ 路線バスネットワークが不十分なため、中学生や高校生は主に自転車で通学しているが、幅員が狭い道路を通行する必要があるため、非常に危険。
- ・ 甲賀市泉から湖南市方面の国道1号は片側一車線であり、車線数不足のため、朝夕ピーク時に慢性的な渋滞が発生している。
- ・ 幹線道路の渋滞を回避する自動車が生活道路へ流入するため、地域の安全が脅かされている。

▶ 甲賀地域の道路整備について

- ・ 豪雨災害に備えた道路整備を検討していただきたい。
- ・ 新規道路では歩道が整備されているが、既存道路においても歩道を整備していただきたい。
- ・ 幅員が広すぎる歩道については、歩道幅員の縮小等により、自転車道の設置を検討していただきたい。
- ・ 甲賀市や湖南市から市外方面へ向かう路線は、南部土木事務所や東近江土木事務所管轄であり、三重県とも隣接しているため、広域的な道路網の整備を検討する必要がある。
- ・ 名神名阪連絡道路が整備されても通過道路にならないよう、甲賀市内や湖南市内へのアクセス道路を整備して地域の活性化を図る必要がある。
- ・ 名神名阪連絡道路のような高規格幹線道路だけでなく、幹線道路を補助する地域の道路についても整備を促進していただきたい。

▶ その他

- ・ 路肩の舗装状況が悪いため、自転車が車道の中側に入ってきていると考えられるため、自転車走行レーンとして舗装を補修して欲しい。
- ・ 大雨による地下横断道の浸水対策については、財政面や周辺への影響面から、ハード対策のみで課題を解決することは困難であり、ソフト対策も合わせた検討が必要である。



地域ワーキング委員(敬称略、五十音順)

- | | |
|------------------------|---------------------------|
| 市原 克夫 [公募委員] | 塚口 博司 [立命館大学 名誉教授] (座長) |
| 今村 敏明 [公募委員] | 辻 彰 [甲賀市商工会 会長] |
| 木村 準子 [甲賀湖南交通安全協会 副会長] | 富居 敬介 [滋賀県甲賀警察署交通課 課長] |
| 上西 保 [湖南市産業経済懇話会 会長] | 西澤 毅 [甲賀市社会福祉協議会 事務局長] |
| 竹内 範行 [湖南市都市建設部 部長] | 樋口 泰司 [甲賀市建設部 部長] |
| 武村みゆき [湖南市観光協会 常任理事] | 松田 晃余 [信楽町観光協会] |
| 谷口 奈菜 [甲賀市観光まちづくり協会] | 丸山 裕史 [滋賀県トラック協会甲賀支部 支部長] |

滋賀県道路整備アクションプログラム 地域別アクションプログラム 甲賀地域ワーキング
～甲賀地域ワーキングニュース～ 2022年10月発行

【編集・発行】 滋賀県甲賀土木事務所道路計画課

〒528-8511 甲賀市水口町水口6200 TEL:0748-63-6159 FAX:0748-63-1504

E-mail: ha32100@pref.shiga.lg.jp URL: <https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kendoseibi/douro/326756.html>

議事録URL
はこちら

